

# 施策評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち		
施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実		
取り組み事項	文化芸術の振興を図る		
主管部局	教育委員会 生涯学習課	関連部局	体育振興課

## めざす暮らしの姿

市民一人ひとりがライフステージに応じて自主的・自発的に学習活動を行い、心豊かで充実した生活を送っている姿をめざす。

## 基本方針

市民が文化芸術や市内にある貴重な文化財に触れる機会、文化活動に参加し個性・創造性を伸ばせる機会を提供します。

## 施策の方針

文化会館で多様なイベントを開催し、市民に文化芸術に触れる機会を提供します。また、市民の自主的な文化芸術活動を支援するとともに、文化団体及び市民グループの育成を図ります。

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	4.39	3.44	4.58	4.31	3.41	3.33
会計年度任用職員数	2.38	3.85	4.03	3.78	3.78	3.78
人件費計	33,144,535	31,954,580	35,752,165	37,406,524	32,750,110	32,172,400
事業費計	88,328,256	114,988,533	109,014,505	121,581,696	109,298,000	120,774,200
フルコスト	121,472,791	146,943,113	144,766,670	158,988,220	142,048,110	152,946,600

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金		5,000,000				0
県支出金						0
市債						0
その他	10,256,700	12,070,000	12,070,000	12,070,000	12,070,000	0
一般財源1	111,216,091	129,873,113	132,696,670	146,918,220	129,978,110	152,946,600
一般財源2	78,071,556	97,918,533	96,944,505	109,511,696	97,228,000	120,774,200

## 3. 成果指標

### (1) 成果指標

指標名						
単位						
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値						
単年度実績値						
単年度達成率	-	-	-	-	-	-

### (2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	
前年度との比較	
所見	

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201010001	事務事業名	文化振興補助金事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	芸術文化団体が行う創作発表事業に対して助成を行う。		
対象	市内を活動の基盤とする芸術文化団体		
目的	市民の芸術文化活動を支援することにより、本市の芸術文化活動の一層の活性化を図ることを目的としている。		
事務事業類型	施設等整備事業(ハード事業)		
関連計画			
根拠法令	法律・政令・省令 文化芸術振興基本法		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.09	0.09	0.18	0.11	0.11	0.11
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	610,790	688,488	1,167,823	770,426	794,352	794,352
事業費計	622,000	590,000	870,000	730,000	940,000	940,000
フルコスト	1,232,790	1,278,488	2,037,823	1,500,426	1,734,352	1,734,352

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	1,232,790	1,278,488	2,037,823	1,500,426	1,734,352	1,734,352
事業費計ー特定財源	622,000	590,000	870,000	730,000	940,000	940,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】文化協会会員数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	1,200	1,200	1,250	1,250	1,250	
単年度実績値	1,070	1,089	1,223	1,100		
前年比	-	101.77%	112.3%	89.94%	-	-
単年度達成率	89.16%	90.75%	97.84%	88%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	会員1人あたりのコスト					
単位						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	1,027.325	1,065.4067	1,630.2584	1,200.3408	1,387.4816	
単年度実績値	1,152.1402	1,174.0018	1,666.2494	1,364.0236		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	市民のさらなる文化意識の向上には、市の支援が不可欠である。	あり
有効性	A: 有効性が高い	多種多様な芸術文化団体を支援することで、本市の芸術文化活動が活性化し、文化振興の目的を達成できる。高齢化等により、各団体の会員数が減少傾向にある。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	補助金の適正化を検討していく。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	各団体の活動に対して検証と見直しを訴え、成果の向上を促すとともに、新規団体の入会を推進する。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	文化協会加入団体が増え、組織として拡大をするよう努めている。	あり

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	引き続き、多種多様な芸術文化団体を支援することで、芸術文化活動の活性化を図る。
休止・廃止となったときの影響	各団体の自主事業が行いにくくなり、相生市の文化芸術が衰退していく。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	相生市文化協会への運営補助を行い、市民の自主的な文化活動を支援するとともに、芸術文化活動助成事業により発表の機会の充実を支援する。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201010002	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	相生市の文化芸術の振興にあたり、権威ある大会等において成績が顕著な者に対し、文化芸術顕彰を贈呈する。		
対象	権威ある大会等において成績が顕著な者		
目的	市民に顕彰制度が周知されることで、文化活動を行う者の一目標となり、市民の文化活動レベルの向上が期待される。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	法律・政令・省令・条例・規則・要綱 文化振興芸術基本法 相生市文化芸術顕彰に関する要綱		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.03	0.03	0.04	0.05	0.05	0.05
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	203,596	229,496	259,516	350,194	361,069	361,069
事業費計	76,000	103,710	89,970	139,470	168,000	168,000
フルコスト	279,596	333,206	349,486	489,664	529,069	529,069

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	279,596	333,206	349,486	489,664	529,069	529,069
事業費計ー特定財源	76,000	103,710	89,970	139,470	168,000	168,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質量】受賞者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	4	4	4	4	4	
単年度実績値	2	2	2	4		
前年比	-	100%	100%	200%	-	-
単年度達成率	50%	50%	50%	100%	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	受賞者1人あたりのコスト					
単位						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	69,899	83,301.5	87,371.5	122,416	132,267.25	
単年度実績値	139,798	166,603	174,743	122,416		

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	市民のさらなる文化意識の向上には、市からの顕彰は必要である。	あり
有効性	B: 比較的有効である	文化活動レベルの向上が期待される。顕彰制度が周知されることで、文化活動を行う者の一目標となりうる。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	各学校や文化団体等、情報把握の効率性、正確性を高めていく。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	各文化団体などとの情報共有に努める。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	文化協会などへの周知をはじめ、各種文化芸術団体と連携を図る。	あり

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	今後も文化芸術活動の目標の1つとして必要である。
休止・廃止となったときの影響	市民の文化芸術活動を行う目標を失ってしまう。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	引き続き、優れた取り組みに対し顕彰を行い、市民の芸術文化活動への関心を高める。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201010003	事務事業名	文化振興事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	文化祭・美術展を実施する。		
対象	市民		
目的	美術展など芸術文化にふれる機会を提供し、市民の自発的芸術文化活動が盛んに行われ、こころ豊かな生活が送れるようにする。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	法律・政令・省令 文化芸術振興基本法		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.82	0.82	0.76	0.61	0.61	0.61
会計年度任用職員数	0.08	0.21	0.21	0.14	0.14	0.14
人件費計	5,677,632	6,580,481	5,245,423	4,539,767	4,705,978	4,705,978
事業費計	2,494,717	2,534,204	2,535,758	2,512,060	2,533,000	2,533,000
フルコスト	8,172,349	9,114,685	7,781,181	7,051,827	7,238,978	7,238,978

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	8,172,349	9,114,685	7,781,181	7,051,827	7,238,978	7,238,978
事業費計ー特定財源	2,494,717	2,534,204	2,535,758	2,512,060	2,533,000	2,533,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質・量】文化祭及び美術展の出演・出展者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	2,200	2,200	2,250	2,250	2,250	
単年度実績値	2,191	2,222	2,216	1,760		
前年比	-	101.41%	99.72%	79.42%	-	-
単年度達成率	99.59%	101%	98.48%	78.22%	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	出演者及び出展者数あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	3,714.7041	4,143.0386	3,458.3027	3,134.1453	3,217.3236	
単年度実績値	3,729.963	4,102.0185	3,511.3633	4,006.7199		

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	美術展等芸術文化に触れる機会を提供し、市民が自発的に芸術文化活動を行うことにより、こころ豊かな生活が送れる。	なし
有効性	B: 比較的有効である	より多くの市民に優れた芸術文化の鑑賞、創作発表の機会を与える。文化の発展を促進するために、市内の参加率向上をめざす。文化会館の持つ機能を有効に活用し、より質の高い事業となるように文化会館管理係とも協力していく。	なし
効率性	A: 効率性が高い	委託事業とし、専門的な意見を取り入れることで効率的な運営を行った。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	市民のニーズを聞きながら、より多くの市民に参加していただけるよう見直しを行う。	あり
透明性	A: 透明性が高い	広報等を通じて、広く市民に参加していただけるよう情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	文化協会の団体数が増加傾向にあり、文化祭に参加希望の団体が増えたことから、開催方法や開催時期について検討した上で事業を進めていく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	市民の文化芸術活動の発表の場が減ってしまう。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	文化芸術の担い手である市民の創造性や豊かな感性を育み、文化意識の向上を図るために満足度の高い文化祭・美術展の開催をしていく。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201010004	事務事業名	相生市文化会館管理運営事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始	平成28年度	終了年度	なし
実施の概要	文化会館の管理運営、その他条例で定められた管理運営事業を行い、文化芸術活動の提供を行う。		
対象	全市民		
目的	市民自らの文化活動を促し、市民の交流と文化の向上を図る場を提供する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	教育振興基本計画		
根拠法令	条例・規則・要綱		
	相生市文化会館の設置及び管理に関する条例		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	2.06	2.06	2.06	2.08	2.08	2.0
会計年度任用職員数	1.56	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
人件費計	16,177,125	18,688,100	16,361,392	18,388,072	19,319,524	18,741,814
事業費計	80,330,734	98,901,596	100,637,011	113,349,536	99,654,000	111,130,200
フルコスト	96,507,859	117,589,696	116,998,403	131,737,608	118,973,524	129,872,014

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	10,256,700	12,070,000	12,070,000	12,070,000	12,070,000
フルコストー特定財源	86,251,159	105,519,696	104,928,403	119,667,608	106,903,524	129,872,014
事業費計ー特定財源	70,074,034	86,831,596	88,567,011	101,279,536	87,584,000	111,130,200

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	150,000	150,000	150,000	160,000	160,000	160,000
単年度実績値	93,522	127,274	153,914	150,682		
前年比	-	136.08%	120.93%	97.9%	-	-
単年度達成率	62.34%	84.84%	102.6%	94.17%	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	利用者一人あたりのコスト					
単位	円/利用者数					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	643.3857	783.9313	779.9894	823.3601	743.5845	811.7001
単年度実績値	1,031.9268	923.9098	760.1544	874.2757		

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	柔軟な対応、利便性の高い施設運営を行うことで、市民の交流と文化の向上を図る場としての役割を継続的に果たすことができている。	なし
有効性	A: 有効性が高い	音楽だけでなく、展示、演劇、演芸、映画など幅広いジャンルの自主事業を開催することができた。また、子ども向け、中年層、年配層など様々な年齢層を対象とした事業を実施し、市内外から多くの人々が来館した。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	限られた予算の中で、効率的かつ効果的な事業を選定し、少ない経費で実施できる事業にも採択されたことで、計画的に事業を進めることができた。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	人気のある事業や会員への還元事業を継続的に実施しながら、市民のニーズに合わせて施設運営を展開している。また、Youtubeライブ配信を行うとともに、事業の共催者、協力者にSNS等で積極的に周知啓発をお願いすることで、幅広い宣伝効果が得られている。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	SNS等での定期的な事業のPRや空き状況を常時閲覧できるようにするなど、会館情報を継続的に発信している。また、事業の実施にあたって、ボランティアスタッフの参加育成や実行委員会形式での運営をすることで、市民参加の運営を目指している。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	引き続き、市内外から多くのお客様に来館いただけるような事業を行っていくとともに、自主事業に係る経費の削減を検討しながら施設の円滑な運営を目指す。
休止・廃止となったときの影響	利用者の継続的な活動及び市民の交流の場が失われ、多大な影響を及ぼすことが想定される。また、市の様々な事業が別の場所での開催か、未実施を余儀なくされる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	より一層、利用者に満足いただけるような運営を目指して、魅力ある自主事業の実施及び利用者への適切な対応に努める。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201010005	事務事業名	文化財事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市域に存在する文化財を適正に管理・保存する。		
対象	市域に存在する有形・無形・民俗文化財及び記念物		
目的	市民がふるさと相生の歴史文化に理解と興味を深め、郷土への愛着を深める。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	教育振興基本計画		
根拠法令	法律・政令・省令・条例・規則・要綱 文化財保護法 兵庫県文化財保護条例 相生市文化財保護条例 相生市文化財保護条例施行規則		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.28	0.08	0.64	0.6	0.1	0.1
会計年度任用職員数	0.24	0.64	0.82	0.82	0.82	0.82
人件費計	2,238,207	1,549,383	5,380,744	5,768,528	2,484,744	2,484,744
事業費計	1,665,405	1,357,540	1,875,720	1,840,140	1,933,000	1,933,000
フルコスト	3,903,612	2,906,923	7,256,464	7,608,668	4,417,744	4,417,744

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	3,903,612	2,906,923	7,256,464	7,608,668	4,417,744	4,417,744
事業費計ー特定財源	1,665,405	1,357,540	1,875,720	1,840,140	1,933,000	1,933,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【量】市指定文化財の登録数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	1	1	1	1	1	
単年度実績値	0	1	0	0		
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	100%	-	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	【質】市指定文化財の登録に掛かるコスト					
単位	円/1件					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	3,903,612	2,906,923	7,256,464	7,608,668	4,417,744	
単年度実績値		2,906,923				

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	市域に存する貴重な文化財を市民共通の財産として適切に保存し、後生に引き継ぐことは不可欠である。	あり
有効性	A: 有効性が高い	計画的に指定文化財の指定を行うことは適切な文化財保護に繋がる。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	現在は最小限のコストで事業を実施しているため、事業の充実を図るためにはコストの拡大が不可欠である。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	学芸員の不在により、今後、採用が急務である。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	これまで発行した「資料館だより」を合本し、資料の保存・啓発に努めた。	あり

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	A: 拡大
所見	市域に存する貴重な文化財を適切に保存するとともに、特別展や歴史講座・史跡めぐりをとおして啓発することで、市民が郷土の歴史文化に理解と愛着を深め、郷土愛の醸成に努める。
休止・廃止となったときの影響	貴重な文化財が失われていく危険性が高い。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	A: 拡大
所見	引き続き、学芸員の採用に努めるとともに、特別展や歴史講座の開催により、ふるさと相生への愛着を育むことができるように努める。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201010006	事務事業名	資料館管理事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	相生の歴史、美術・文芸作品等に関する貴重な資料の収集、保存、展示を行う。		
対象	市民		
目的	ふるさと相生の歴史文化に理解と興味を深め、郷土への愛着を育む。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	教育振興基本計画		
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市歴史民俗資料館条例 相生市歴史民俗資料館条例施行規則		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.85	0.1	0.64	0.6	0.1	0.1
会計年度任用職員数	0.5	1.0	1.0	0.82	0.82	0.82
人件費計	6,472,681	2,229,664	5,650,411	5,768,528	2,484,744	2,484,744
事業費計	3,139,400	11,501,483	3,006,046	3,010,490	4,070,000	4,070,000
フルコスト	9,612,081	13,731,147	8,656,457	8,779,018	6,554,744	6,554,744

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	5,000,000	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	9,612,081	8,731,147	8,656,457	8,779,018	6,554,744	6,554,744
事業費計ー特定財源	3,139,400	6,501,483	3,006,046	3,010,490	4,070,000	4,070,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【量】歴史講座及び史跡めぐりの述べ参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	300	300	300	300	300	
単年度実績値	290	304	349	299		
前年比	-	104.82%	114.8%	85.67%	-	-
単年度達成率	96.66%	101.33%	116.33%	99.66%	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	【質】歴史講座及び史跡めぐりの参加者に係るコスト					
単位	円/1人					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	32,040.27	45,770.49	28,854.8567	29,263.3933	21,849.1467	
単年度実績値	33,145.1069	45,168.2467	24,803.6017	29,361.2642		

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	市民が郷土の歴史・文化・民俗に理解を深るために、市域に存する貴重な資料等を適切に保存し、展示・活用ことは重要である。	あり
有効性	A: 有効性が高い	郷土資料を市民共通の財産として後世に引き継ぐことは市の責務である。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	資料館活性化サポート事業により、常設展、示特別展の充実、業務の効率化を図っている。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	学芸員の不在により、採用が急務である。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	歴史講座、史跡めぐりの実施により、郷土の史跡・文化財の啓発を行っている。	あり

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	A: 拡大
所見	郷土の歴史文化の啓発の充実を図るためにも、貴重な資料を適切に展示・保存するための環境を整える必要がある。
休止・廃止となったときの影響	貴重な文化財が失われていく危険性が高い。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	A: 拡大
所見	資料が適切に保存できる環境と、来館者が快適に見学できる環境の維持に努める。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201010007	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	権威ある大会等において、成績が顕著な個人や団体に対しスポーツ顕彰の贈呈を行うことで、競技者の士気を高め、さらには各種目競技の普及推進、奨励を促す。		
対象	市民		
目的	各種目競技の普及推進、奨励を促す。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市スポーツ顕彰に関する要綱		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.26	0.26	0.26	0.26	0.36	0.36
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	1,764,504	1,988,968	1,686,856	1,821,009	2,599,699	2,599,699
事業費計	0	0	0	0	0	0
フルコスト	1,764,504	1,988,968	1,686,856	1,821,009	2,599,699	2,599,699

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	1,764,504	1,988,968	1,686,856	1,821,009	2,599,699	2,599,699
事業費計ー特定財源	0	0	0	0	0	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】スポーツ顕彰受賞者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	58	58	58	58	58	58
単年度実績値	24	24	24	29		
前年比	-	100%	100%	120.83%	-	-
単年度達成率	41.37%	41.37%	41.37%	50%	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	スポーツ顕彰受賞者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	30,422.4828	34,292.5517	29,083.7241	31,396.7069	44,822.3966	44,822.3966
単年度実績値	73,521	82,873.6667	70,285.6667	62,793.4138		

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	各種目スポーツにおいて、成績の結果を顕彰することにより、受賞者にとって励みとなり今後の活躍に期待できる。	あり
有効性	A: 有効性が高い	教育委員会として顕彰制度の一本化を図り、「相生市スポーツ顕彰に関する要綱」として施行している。	あり
効率性	A: 効率性が高い	要綱に基づき、有識者の意見を聞きながら適正に運用できている。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	対象者を的確に把握することが求められる。	あり
透明性	A: 透明性が高い	定期的に各種スポーツ団体などに対し該当者の照会を行っており、透明性が高い。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	今後も功績に相応した顕彰を贈呈していく。
休止・廃止となったときの影響	競技スポーツに取り組む人の功績を広く知らせる機会がなくなり、市民のスポーツ活動への関心を高めることができなくなる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	引き続き、優れた取り組みに対し顕彰を行い、市民のスポーツ活動への関心を高める。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201020001	事務事業名	人権啓発事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	人権啓発活動を推進する
部名	教育委員会	課名	人権教育推進室
事業の開始	平成21年度	終了年度	なし
実施の概要	市民人権学習、人権の集いの実施、啓発紙「ひとみ」の発行などを実施する。		
対象	すべての市民		
目的	市民一人一人が人権意識を高め、人権問題に対する正しい理解と認識を深める。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	法律・政令・省令 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律／人権教育・啓発の推進に関する基本計画		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.85	0.85	0.8	0.6	0.6	0.0
会計年度任用職員数	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	0.0
人件費計	7,035,968	7,820,604	6,538,661	6,112,328	6,482,352	0
事業費計	4,904,251	4,927,299	5,230,920	5,653,280	6,004,000	0
フルコスト	11,940,219	12,747,903	11,769,581	11,765,608	12,486,352	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	162,000	542,000	542,000	470,000	467,000	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	11,778,219	12,205,903	11,227,581	11,295,608	12,019,352	0
事業費計ー特定財源	4,742,251	4,385,299	4,688,920	5,183,280	5,537,000	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】市民人権学習会への参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	1,800	1,800	1,800	2,000	2,500	2,500
単年度実績値	1,867	1,672	2,066	2,865		
前年比	-	89.55%	123.56%	138.67%	-	-
単年度達成率	103.72%	92.88%	114.77%	143.25%	-	-

## (2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	6,633.455	7,082.1683	6,538.6561	5,882.804	4,994.5408	0
単年度実績値	6,395.4039	7,624.3439	5,696.7962	4,106.6695		

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	社会的ニーズに応えるためにも、人権に関する有益な情報を提供し、今後も市民の人権に対する関心を高めていく。	なし
有効性	B:比較的有効である	ニーズや社会状況に沿った新たな人権問題や市民にとって身近な人権問題などについて、啓発紙を作成し、市民が身近に人権について考える機会として成果を上げている。	なし
効率性	B:比較的効率的である	庁内連携を推進し、事業のPRやスタッフの協働を図ることで、事業実施に向けて効率性を高めている。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	人権問題に対する正しい理解と認識を深める取組として、市民人権学習の開催方法や内容について工夫をし、参加者のニーズにあわせた学習会を開催し、参加者の増加に努めた。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	各種団体に市民人権学習会の開催を呼びかけることで、参加者の年齢層や所属などに広がりがみられた。また、様々な人権課題について情報提供・情報発信するために啓発紙「ひとみ」(年4回)を全戸配布した。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	市民人権学習、人権の集いの実施、啓発誌「ひとみ」の発行等を通して、一人でも多くの市民に人権問題に対する正しい理解と認識を深める場が提供できるような人権啓発について創意工夫に努める。
休止・廃止となったときの影響	人権啓発活動をする機会が減少することは、市民に対して人権尊重の精神の涵養が衰退していくと考えられる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	市民が参加しやすい環境を整え、市民人権学習や人権の集いを実施し、さまざまな人権課題について考えるとともに、学びを通じて人と人とのつながりの大切さについて再認識し、住民間の絆を更に深める機会とする。今後も関係課室と連携し、啓発活動を進めていく。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201030003	事務事業名	公民館活動事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	生涯学習環境をつくる
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	社会教育施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する		
対象	市民		
目的	市民が文化的生活を営む上での支えとなる		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	教育振興基本計画		
根拠法令			

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.18	0.18	0.24	0.24	0.24	0.24
会計年度任用職員数	6.68	7.1	8.3	8.24	8.6	8.6
人件費計	10,628,476	11,776,183	13,991,726	17,419,331	20,219,004	20,219,004
事業費計	4,888,433	4,872,404	4,868,653	4,936,373	5,015,000	5,015,000
フルコスト	15,516,909	16,648,587	18,860,379	22,355,704	25,234,004	25,234,004

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	15,516,909	16,648,587	18,860,379	22,355,704	25,234,004	25,234,004
事業費計ー特定財源	4,888,433	4,872,404	4,868,653	4,936,373	5,015,000	5,015,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	定期講座、随時講座参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値			7,500	7,500		
単年度実績値	8,420	8,800	8,354	8,499		
前年比	-	104.51%	94.93%	101.73%	-	-
単年度達成率	-	-	111.38%	113.32%	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	参加者一人当たりコスト					
単位	事業費÷参加者数(定期+随時講座)					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値			2,514.7172	2,980.7605		
単年度実績値	1,842.8633	1,891.8849	2,257.6465	2,630.3923		

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	幅広い年代層に、生涯学習機会や社会参加を促し、心豊かな生活を過ごせるよう支援をする。	なし
有効性	A: 有効性が高い	市民のニーズに応えることはもとより、興味関心の幅を広げることができるように多様な講座を開催する。	なし
効率性	A: 効率性が高い	講師謝礼等、近隣自治体との調整を図っている。	なし
改革・改善プラン達成度	A: 改革改善効果が高い	年1回募集の定期講座に加え、随時講座を行い、市民が希望する内容の講座を受けられるように努めている。 また、公民館主催講座に加え、公民館を拠点に活動する同好会活動を支援している。”	なし
透明性	A: 透明性が高い	広報あいおい、館内掲示、ちらしの配布、自治会での回覧等で情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民に積極的に公民館活動を周知し、公民館講座等の参加を促し、市民の文化活動を支援する。
休止・廃止となったときの影響	地域住民の文化的な活動に支障が出る。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民の文化的な活動を支えるために、公民館活動を周知し、公民館講座の参加を促し、積極的に支援していく。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201030005	事務事業名	多目的研修センター活動事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	生涯学習環境をつくる
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	社会教育類似施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する		
対象	市民		
目的	社会環境の変化に対応した学習ができる場、同じ目的を持った自主グループの活動の場の提供、地域学習の生涯学習、コミュニティ活動の場とする		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.09	0.09	0.24	0.16	0.16	0.16
会計年度任用職員数	1.34	1.42	1.72	1.72	1.72	1.72
人件費計	2,497,802	2,768,329	4,133,912	4,405,819	4,852,595	4,852,595
事業費計	835,850	824,602	840,396	782,086	879,000	879,000
フルコスト	3,333,652	3,592,931	4,974,308	5,187,905	5,731,595	5,731,595

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	3,333,652	3,592,931	4,974,308	5,187,905	5,731,595	5,731,595
事業費計ー特定財源	835,850	824,602	840,396	782,086	879,000	879,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	定期、随時講座参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値			1,000	1,000	1,000	
単年度実績値	1,323	1,238	1,292	1,275		
前年比	-	93.57%	104.36%	98.68%	-	-
単年度達成率	-	-	129.2%	127.5%	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	定期、随時講座参加者数1人あたりのコスト					
単位						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値			4,974.308	5,187.905	5,731.595	
単年度実績値	2,519.7672	2,902.206	3,850.0836	4,068.9451		

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	市民の文化活動に貢献する。	なし
有効性	A: 有効性が高い	市民のニーズに対応した講座を行っている。	なし
効率性	A: 効率性が高い	講師謝礼等、近隣自治体との調整を行っている。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	年1回募集の定期講座に加え、随時講座を実施し、市民が参加しやすい環境づくりをすすめている。	なし
透明性	A: 透明性が高い	広報あいおい、ちらし、館内掲示などで、情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民の文化的な活動を支えるため、継続していく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	市民の文化活動に、支障が出る。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民の文化的な活動を積極的に支援していく。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201030006	事務事業名	図書館運営管理事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	生涯学習環境をつくる
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	蔵書の適正な管理と円滑な図書館運営を行う。		
対象	市民		
目的	図書等を収集し、整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資すること。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	教育振興基本計画,第4次子ども読書活動推進計画		
根拠法令	図書館法		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.26	0.21	0.0	0.1	0.1	0.1
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	1,764,504	1,606,474	0	700,388	722,138	722,138
事業費計	69,293,996	62,330,154	73,890,711	71,823,480	129,231,000	73,688,000
フルコスト	71,058,500	63,936,628	73,890,711	72,523,868	129,953,138	74,410,138

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	3,000,000	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	2,900,000	49,900,000	49,900,000
その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	71,058,500	60,936,628	73,890,711	69,623,868	80,053,138	24,510,138
事業費計ー特定財源	69,293,996	59,330,154	73,890,711	68,923,480	79,331,000	23,788,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	図書貸出冊数					
単位	冊					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
単年度実績値	150,364	154,360	146,141	149,958		
前年比	-	102.65%	94.67%	102.61%	-	-
単年度達成率	100.24%	102.9%	97.42%	99.97%	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	図書貸出冊数1冊あたりのコスト					
単位	冊					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	473.7233	426.2442	492.6047	483.4925	866.3543	496.0676
単年度実績値	472.5765	414.2046	505.6125	483.6279		

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A:妥当性が高い	資料の収集、管理と提供、保存などを行うために妥当である。	なし
有効性	B:比較的有効である	蔵書の適正な管理と円滑な図書館運営を行う。	なし
効率性	A:効率性が高い	指定管理施設として、業務等効率性の向上を図っている。	なし
改革・改善プラン達成度	A:改革改善効果が高い	民間のノウハウを活かし、運営を行っている。	なし
透明性	A:透明性が高い	市の広報誌やホームページを活用したり、図書館だより等の発行を行い、市民に向けて情報発信を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	蔵書の適正な管理と円滑な図書館運営を行うために、資料の収集、管理と提供及び保存などを行っていく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	貴重な蔵書や資料が失われていく可能性が高い。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	蔵書の適正な管理と貸出を円滑に行っていく。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201030007	事務事業名	高齢者教育事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	生涯学習環境をつくる
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	午前中に教養講座、午後に専門講座(歴史・園芸・保健体育)を年10回実施している。また、年2回公開講座として、一般の方も参加可能な講座を実施している。		
対象	満60歳以上の市民		
目的	高齢者の生涯学習を行うことで、生きがいを持って自立した生活がおくれる。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	教育振興基本計画		
根拠法令			

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.22	0.22	0.57	0.44	0.44	0.44
会計年度任用職員数	0.4	0.66	0.56	0.71	0.71	0.71
人件費計	2,056,329	2,649,658	4,537,071	4,437,807	4,703,569	4,703,569
事業費計	1,199,142	1,253,860	1,048,024	1,187,077	1,297,000	1,297,000
フルコスト	3,255,471	3,903,518	5,585,095	5,624,884	6,000,569	6,000,569

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	877,000	1,303,000	1,303,000	1,303,000	1,100,000	1,100,000
フルコストー特定財源	2,378,471	2,600,518	4,282,095	4,321,884	4,900,569	4,900,569
事業費計ー特定財源	322,142	-49,140	-254,976	-115,923	197,000	197,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】金ヶ崎学園大学受講者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	300	300	300	300	300	300
単年度実績値	300	298	272	258	233	
前年比	-	99.33%	91.27%	94.85%	90.31%	-
単年度達成率	100%	99.33%	90.66%	86%	77.66%	-

## (2)コスト指標

指標名1	登録者1人あたりのコスト					
単位	円/人					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	10,851.57	13,011.7267	18,616.9833	18,749.6133	20,001.8967	20,001.8967
単年度実績値	10,851.57	13,099.0537	20,533.4375	21,801.876	25,753.515	

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	高齢化率の高い本市において、ニーズが高いため地域社会での高齢者の活動の場を広げるために必要である。	なし
有効性	B: 比較的有効である	高齢者が参加しやすい学習活動の場や機会を提供し、積極的な参加を促している。	なし
効率性	A: 効率性が高い	交通費のかからない近隣在住講師などの活用。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	高齢者が積極的に事業に参加できるよう促し、達成感を感じられるようにした。新規受講者の確保を図る必要がある。	あり
透明性	A: 透明性が高い	広報折込チラシで学生を募集している。また年2回の公開講座を実施し、受講生だけではなく、一般市民の参加を募っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	高齢者の活動の場を確保するためにも必要。
休止・廃止となったときの影響	高齢者の社会的孤立が進んでしまう。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	高齢者の活動の場を確保し交流を促進していく。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201040001	事務事業名	市民体育館管理運営事業		
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		
部名	教育委員会	課名	体育振興課		
事業の開始		終了年度	なし		
実施の概要	市民体育館の管理運営、利用許可、使用料徴収その他条例で定められた管理運営に関する事業を行い、健康づくり、体力づくりなど、スポーツに親しめる環境づくりを行う。				
対象	市民、市民体育館利用者				
目的	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、様々なスポーツ活動が展開される場を提供する。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画					
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市民体育館条例 相生市民体育館条例施行規則				

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.34	0.34	0.34	0.39	0.44	0.44
会計年度任用職員数	0.11	0.11	0.11	0.12	0.11	0.11
人件費計	2,462,332	2,762,072	2,370,685	2,960,713	3,413,857	3,413,857
事業費計	15,868,965	22,408,923	59,893,256	95,124,542	13,796,000	16,229,000
フルコスト	18,331,297	25,170,995	62,263,941	98,085,255	17,209,857	19,642,857

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	7,300,000	140,500,000	6,300,000	0	0
その他	2,180,373	2,368,000	2,800,000	2,900,000	2,703,000	2,900,000
フルコストー特定財源	16,150,924	15,502,995	-81,036,059	88,885,255	14,506,857	16,742,857
事業費計ー特定財源	13,688,592	12,740,923	-83,406,744	85,924,542	11,093,000	13,329,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】市民体育館利用状況					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
単年度実績値	68,259	75,899	80,082	73,403		
前年比	-	111.19%	105.51%	91.65%	-	-
単年度達成率	68.25%	75.89%	80.08%	73.4%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	市民体育館利用者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	183.313	251.71	622.6394	980.8526	172.0986	196.4286
単年度実績値	268.555	331.638	777.5023	1,336.2568		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	利用団体との協働により、良好な施設活用が図られている。	あり
有効性	B:比較的有効である	競技場をはじめ昨年度並みの各室の利用があった。	あり
効率性	A:効率性が高い	平日夜間、休日の体育館受付業務をシルバー人材センターに委託し、執行体制は効果的である。	あり
改革・改善プラン達成度	C:改革改善効果が低い	あまり事業改革は達成出来ていない。	あり
透明性	B:比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙により、イベント情報等の情報提供を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	施設を適切に管理し、市民が安全かつ快適に利用できるよう努めていく。
休止・廃止となったときの影響	代替施設がないため、スポーツの場を提供出来なくなり、健康維持の妨げとなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	施設を適切に管理し、市民が安全かつ快適に利用できるよう努める。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201040002	事務事業名	市民プール管理運営事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	指定管理者制度により民間事業者による、市民プール維持管理運営業務を行う。		
対象	市民、市民プール利用者		
目的	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行う。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市立市民プール条例 相生市立市民プール条例施行規則		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.08	0.08	0.08	0.07	0.1	0.1
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	542,924	611,990	519,032	490,271	722,138	722,138
事業費計	6,200,000	6,246,200	6,101,000	6,569,600	6,507,000	6,507,000
フルコスト	6,742,924	6,858,190	6,620,032	7,059,871	7,229,138	7,229,138

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	6,742,924	6,858,190	6,620,032	7,059,871	7,229,138	7,229,138
事業費計ー特定財源	6,200,000	6,246,200	6,101,000	6,569,600	6,507,000	6,507,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】市民プール利用状況					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400
単年度実績値	1,897	2,238	3,001	2,851		
前年比	-	117.97%	134.09%	95%	-	-
単年度達成率	55.79%	65.82%	88.26%	83.85%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	市民プール利用者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	1,983.2129	2,017.1147	1,947.0682	2,076.4326	2,126.2171	2,126.2171
単年度実績値	3,554.5198	3,064.4281	2,205.942	2,476.2788		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	利用人数は若干減少したものの、利用者は快適に利用することができた。	あり
有効性	B:比較的有効である	指定管理者制度を導入することにより、利用者にとって魅力のある官営運営が図られている。	あり
効率性	A:効率性が高い	指定管理者制度を導入し、コスト削減を図っている。	あり
改革・改善プラン達成度	C:改革改善効果が低い	あまり事業改革は達成できていない。	あり
透明性	B:比較的透明性を確保している	ホームページや広報誌により、イベント情報等の情報提供を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	異常の早期発見と指定管理者の専門的な見地から市と連携し、計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。
休止・廃止となったときの影響	代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	施設管理者と連携を取りながら今後も適正管理に努める。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201040003	事務事業名	市民グラウンド管理運営事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市民グラウンドの管理運営、利用許可、使用料徴収その他条例で定められた管理運営に関する事業を行い、健康づくり、体力づくりなど、スポーツに親しめる環境づくりを行う。		
対象	市民、市民グラウンド利用者		
目的	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、スポーツの場を提供する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市民グラウンド条例 相生市民グラウンド条例施行規則		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.36	0.36	0.36	0.35	0.46	0.46
会計年度任用職員数	0.07	0.07	0.07	0.06	0.07	0.07
人件費計	2,541,735	2,856,482	2,440,517	2,565,958	3,472,304	3,472,304
事業費計	3,896,321	9,179,164	5,570,381	4,073,834	4,388,000	4,473,000
フルコスト	6,438,056	12,035,646	8,010,898	6,639,792	7,860,304	7,945,304

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	509,437	400,000	660,000	660,000	660,000
フルコストー特定財源	5,928,619	11,635,646	7,350,898	5,979,792	7,200,304	7,285,304
事業費計ー特定財源	3,386,884	8,779,164	4,910,381	3,413,834	3,728,000	3,813,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】市民グラウンド利用状況					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
単年度実績値	15,917	17,761	16,718	14,637		
前年比	-	111.58%	94.12%	87.55%	-	-
単年度達成率	88.42%	98.67%	92.87%	81.31%	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	市民グラウンド利用者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	357.6698	668.647	445.0499	368.8773	436.6836	441.4058
単年度実績値	404.4767	677.6446	479.178	453.6307		

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	利用団体との協働により、良好な施設活用が図られている。	あり
有効性	B:比較的有効である	屋外型施設のため、天候により利用件数等が大きく左右される。	あり
効率性	A:効率性が高い	施設の老朽による軽微な不具合は発生しているが、早期発見対処により効果的に最小限度の費用で対応できている。	あり
改革・改善プラン達成度	C:改革改善効果が低い	あまり事業改革は達成できていない。	あり
透明性	B:比較的透明性を確保している	ホームページや広報誌により、イベント情報等の情報提供を行っている。	あり

## (2) 総合評価

総合評価
B

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	利用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の削減に努める。
休止・廃止となったときの影響	代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	利用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の削減に努める。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201040004	事務事業名	温水プール管理運営事業		
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		
部名	教育委員会	課名	体育振興課		
事業の開始		終了年度	なし		
実施の概要	指定管理者制度により民間事業者による、温水プール維持管理運営業務を行う。				
対象	市民、温水プール利用者				
目的	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、健康維持の増進、スポーツの場を提供する。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画					
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市立温水プールの設置及び管理に関する条例 相生市立温水プールの設置及び管理に関する条例施行規則				

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.3	0.3	0.3	0.3	0.36	0.36
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	2,035,966	2,294,963	1,946,373	2,101,164	2,599,699	2,599,699
事業費計	30,651,099	21,757,354	71,792,753	75,518,688	23,016,000	21,088,000
フルコスト	32,687,065	24,052,317	73,739,126	77,619,852	25,615,699	23,687,699

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	2,000,000	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	49,600,000	0
	その他	514,800	514,000	514,000	514,000	514,000
フルコストー特定財源	32,172,265	21,538,317	73,225,126	27,505,852	25,101,699	23,173,699
事業費計ー特定財源	30,136,299	19,243,354	71,278,753	25,404,688	22,502,000	20,574,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】温水プール利用状況					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	100,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
単年度実績値	98,854	120,208	124,426	135,565		
前年比	-	121.6%	103.5%	108.95%	-	-
単年度達成率	98.85%	80.13%	82.95%	90.37%	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	温水プール利用者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	326.8707	160.3488	491.5942	517.4657	170.7713	157.918
単年度実績値	330.66	200.0892	592.6344	572.5656		

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	利用人員も増加し、利用者は快適に利用することができた。	あり
有効性	B: 比較的有効である	指定管理者制度を導入することにより、利用者にとって魅力のある管理運営が図られている。	あり
効率性	A: 効率性が高い	指定管理者制度を導入し、コスト削減を図っている。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	あまり事業改革は達成できていない。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報誌により、イベント情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
B

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	異常の早期発見と指定管理者の専門的な見地から市と連携し、計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。
休止・廃止となったときの影響	代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	異常の早期発見と指定管理者の専門的な見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理運営を進める。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201040006	事務事業名	社会体育振興事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	各種競技スポーツの推進、スポーツクラブ21ひょうごの推進、国際大会、全国大会出場選手に対する優秀選手激励制度の運用に取り組む。		
対象	市民		
目的	市民が暮らしの中で体力づくりや健康保持等、それぞれの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.65	0.65	0.65	0.64	0.82	0.82
会計年度任用職員数	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
人件費計	4,566,164	5,133,534	4,381,938	4,692,583	6,157,984	6,157,984
事業費計	1,744,841	2,010,469	2,052,525	2,210,810	2,311,000	2,471,000
フルコスト	6,311,005	7,144,003	6,434,463	6,903,393	8,468,984	8,628,984

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	319,000	225,000	150,000	115,000	115,000
フルコストー特定財源	5,992,005	6,919,003	6,284,463	6,788,393	8,353,984	8,513,984
事業費計ー特定財源	1,425,841	1,785,469	1,902,525	2,095,810	2,196,000	2,356,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【量】市民体育大会等実施数					
単位	種目					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	19	19	19	19	19	19
単年度実績値	15	17	18	19		
前年比	-	113.33%	105.88%	105.55%	-	-
単年度達成率	78.94%	89.47%	94.73%	100%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	市民体育大会等1種目あたりのフルコスト					
単位	円/種目					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	332,158.1579	376,000.1579	338,655.9474	363,336.4737	445,736	454,157.0526
単年度実績値	420,733.6667	420,235.4706	357,470.1667	363,336.4737		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	スポーツ種目を幅広く網羅し、事業を実施できている。 全国大会等出場選手を激励することにより、今後の選手の活躍および競技種目の発展に期待できる。	あり
有効性	B: 比較的有効である	各制度の運用、各種振興事業とも適切に実施されている。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	優秀選手激励制度については、制度の趣旨を損なわないようにしつつコスト削減に努める。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	各団体の自主的な運営が進むよう、情報共有をはじめとした連携が必要である。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報誌により、事業情報等の情報提供を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民一人ひとりが年齢や体力に応じて、生き生きとスポーツを行えるよう継続して実施していく。
休止・廃止となったときの影響	事業委託料が大半を占めており、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民一人ひとりが年齢や体力に応じて、生き生きとスポーツを行えるように支援することは重要であるため継続して実施する。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201040007	事務事業名	ジュニアスポーツ振興事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	小中学生の基礎体力の低下が精神面や人間形成、学力の低下にまで影響を及ぼしている中、児童や生徒に対し、学校体育だけではなく、広くスポーツに接する機会を提供する。		
対象	市民(ジュニア層)		
目的	子ども達のスポーツへの関心が高まり、学校で地域で家庭で生き生きとしたスポーツ活動を展開する。特に小中学生のスポーツ人口の増加と基礎体力の向上を目指す。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.63	0.63	0.63	0.63	0.81	0.81
会計年度任用職員数	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13
人件費計	4,458,598	5,009,830	4,282,142	4,660,745	6,128,760	6,128,760
事業費計	538,740	1,626,390	1,650,000	1,550,000	1,490,000	1,490,000
フルコスト	4,997,338	6,636,220	5,932,142	6,210,745	7,618,760	7,618,760

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	319,000	330,000	295,000	265,000	265,000
フルコストー特定財源	4,678,338	6,306,220	5,637,142	5,945,745	7,353,760	7,353,760
事業費計ー特定財源	219,740	1,296,390	1,355,000	1,285,000	1,225,000	1,225,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【量】ジュニアスポーツ振興事業数					
単位	事業					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	14	14	14	14	13	13
単年度実績値	6	12	14	13		
前年比	-	200%	116.66%	92.85%	-	-
単年度達成率	42.85%	85.71%	100%	92.85%	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	ジュニアスポーツ振興事業1事業あたりのフルコスト					
単位	円/事業					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	356,952.7143	474,015.7143	423,724.4286	443,624.6429	586,058.4615	586,058.4615
単年度実績値	832,889.6667	553,018.3333	423,724.4286	477,749.6154		

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	ジュニア対象の事業を実施し、体力向上の機会を提供できている。	あり
有効性	B: 比較的有効である	大会や教室への参加により、競技力の向上が図られている。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	委託事業とし、専門的な意見を取り入れることで効率的な運営を行った。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	少子化と種目の多様化により、参加人数に影響が出ているため、関係団体との連携、調整により日程や事業内容を検討する。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報誌により、事業情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	スポーツを通じた青少年育成の観点からもスポーツを楽しむことのできる環境の場を提供していくことが必要である。
休止・廃止となったときの影響	学校教育以外でのスポーツに親しむ機会が少なくなり、スポーツの楽しさや技術の向上に寄与する場が提供できなくなる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	生涯にわたりスポーツが楽しめるよう、幼少期からスポーツに触れる機会の提供や、ジュニアを対象としたスポーツ教室や大会などを実施していくことが必要である。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201040008	事務事業名	レクリエーションスポーツ振興事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市民誰もが暮らしの中での体力づくりや健康維持等、スポーツを取り入れやすいように、レクリエーションスポーツに親しめる場の確保や大会等の開催を行う。		
対象	市民		
目的	誰もが自分にあった形で生活の中にスポーツを取り入れる。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.77	0.77	0.77	0.76	0.96	0.96
会計年度任用職員数	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21
人件費計	5,521,373	6,197,987	5,310,302	5,724,049	7,383,930	7,383,930
事業費計	2,411,164	3,290,982	3,387,451	3,566,577	3,550,000	3,550,000
フルコスト	7,932,537	9,488,969	8,697,753	9,290,626	10,933,930	10,933,930

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	319,000	465,000	465,000	470,000	2,310,000
フルコストー特定財源	7,613,537	9,023,969	8,232,753	8,820,626	8,623,930	10,463,930
事業費計ー特定財源	2,092,164	2,825,982	2,922,451	3,096,577	1,240,000	3,080,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【量】レクリエーションスポーツ振興事業数					
単位	事業					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	20	20	20	20	20	20
単年度実績値	15	19	20	20		
前年比	-	126.66%	105.26%	100%	-	-
単年度達成率	75%	95%	100%	100%	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	レクリエーションスポーツ振興事業1事業あたりのフルコスト					
単位						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	396,626.85	474,448.45	434,887.65	464,531.3	546,696.5	546,696.5
単年度実績値	528,835.8	499,419.4211	434,887.65	464,531.3		

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	レクリエーションスポーツへの興味や参加意識が高く、参加数は安定している。	あり
有効性	B: 比較的有効である	市民一人ひとりが主体的に行うレクリエーションスポーツについて、スポーツをする場の提供やきっかけづくりなどの側面支援を行うことができた。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	市民ニーズや流行を把握、分析しながらスクラップアンドビルドを行い、ニュースポーツの普及等、事業の効果を高める必要がある。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	高齢化社会に対応すべき、目標達成のため事業内容と運営方法について関係団体と検討する。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報誌により、事業情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。
休止・廃止となったときの影響	事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図る。

# 事務事業評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

事業番号	010201040009	事務事業名	スポーツ教室事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	スポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心を持ち、親しむ機会を提供する。		
対象	市民		
目的	初心者を対象としたスポーツ教室を開催することで、スポーツに関心をもってもらい、基礎的な知識と技術の習得および健康増進につなげる。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	法律・政令・省令 スポーツ基本法		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
会計年度任用職員数	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
人件費計	576,179	634,753	569,051	649,432	691,225	691,225
事業費計	817,290	799,500	798,726	966,358	853,000	853,000
フルコスト	1,393,469	1,434,253	1,367,777	1,615,790	1,544,225	1,544,225

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	570,000	750,000	750,000	600,000	600,000	600,000
フルコストー特定財源	823,469	684,253	617,777	1,015,790	944,225	944,225
事業費計ー特定財源	247,290	49,500	48,726	366,358	253,000	253,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質・量】スポーツ教室参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	280	280	280	280	280	280
単年度実績値	239	255	262	269		
前年比	-	106.69%	102.74%	102.67%	-	-
単年度達成率	85.35%	91.07%	93.57%	96.07%	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	スポーツ教室参加者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	4,976.675	5,122.3321	4,884.9179	5,770.6786	5,515.0893	5,515.0893
単年度実績値	5,830.4142	5,624.5216	5,220.5229	6,006.6543		

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	スポーツ教室は健康を維持し、生涯にわたりスポーツを楽しむという面からも有意義である。	なし
有効性	B: 比較的有効である	参加者数は昨年度より増加し、6教室を開講することができた。有料であるため出席率は比較的高いが、教室の実施内容によっては参加者数増加にまだ向上の余地がある。	あり
効率性	A: 効率性が高い	各教室とも開催時期は4～7月、9～12月、1～3月の3期、開催回数は1期あたり10回、開催時間は1回あたり90分と、教室の開催時期や回数、時間ともに最適である。	なし
改革・改善プラン達成度	A: 改革改善効果が高い	これまで参加することができなかった働き世代に向け、受講しやすい夜間帯に教室の開講を行っている。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報誌への掲載、幼稚園へのチラシ配布により、広く教室開催等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	スポーツを気軽に楽しめる機会と場を通じて、健康及び体力の保持のみならず、自分もできるという経験から自信が生まれ、また、人と人との触れ合いから仲間意識や人との温かみを感じる機会が生まれる。
休止・廃止となったときの影響	類似の教室がないため、スポーツの場を提供できなくなり、スポーツに自発的に参画する機会が失われ、心身の健康増進等の妨げとなる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	当事業は費用対効果に優れた事業である。スポーツ人口の裾野の拡大や市民が気軽にスポーツに親しむ契機となるよう、当事業の継続が必要である。

## 構成事務事業の事後総合評価

事務事業名	事務事業担当者の評価	上位責任者の評価	総合評価
	担当者所見	方向性及び所見	
文化振興補助金事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	引き続き、多種多様な芸術文化団体を支援することで、芸術文化活動の活性化を図る。	相生市文化協会への運営補助を行い、市民の自主的な文化活動を支援するとともに、芸術文化活動助成事業により発表の機会の充実を支援する。	
スポーツ・文化芸術顕彰事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	今後も文化芸術活動の目標の1つとして必要である。	引き続き、優れた取り組みに対し顕彰を行い、市民の芸術文化活動への関心を高める。	
文化振興事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	文化協会の団体数が増加傾向にあり、文化祭に参加希望の団体が増えたことから、開催方法や開催時期について検討した上で事業を進めていく必要がある。	文化芸術の担い手である市民の創造性や豊かな感性を育み、文化意識の向上を図るために満足度の高い文化祭・美術展の開催をしていく。	
相生市文化会館管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	引き続き、市内外から多くのお客様に来館いただけるような事業を行っていくとともに、自主事業に係る経費の削減を検討しながら施設の円滑な運営を目指す。	より一層、利用者に満足いただけるような運営を目指して、魅力ある自主事業の実施及び利用者への適切な対応に努める。	
文化財事業	A:拡大	A:拡大	A
	市域に存する貴重な文化財を適切に保存するとともに、特別展や歴史講座・史跡めぐりをおして啓発することで、市民が郷土の歴史文化に理解と愛着を深め、郷土愛の醸成に努める。	引き続き、学芸員の採用に努めるとともに、特別展や歴史講座の開催により、ふるさと相生への愛着を育むことができるように努める。	
資料館管理事業	A:拡大	A:拡大	A
	郷土の歴史文化の啓発の充実を図るためにも、貴重な資料を適切に展示・保存するための環境を整える必要がある。	資料が適切に保存できる環境と、来館者が快適に見学できる環境の維持に努める。	
スポーツ・文化芸術顕彰事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	今後も功績に相応した顕彰を贈呈していく。	引き続き、優れた取り組みに対し顕彰を行い、市民のスポーツ活動への関心を高める。	



# 施策評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち		
施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実		
取り組み事項	人権啓発活動を推進する		
主管部局	教育委員会 人権教育推進室	関連部局	

## めざす暮らしの姿

心豊かで充実した生活を送るために、ライフステージに応じた学習機会及び多様な文化芸術及び郷土の歴史文化に触れる機会の充実

## 基本方針

人権学習の場の整備や学習内容の充実を図り、現代の課題に応じた学習プログラムを提供します。また、学習の成果が発揮できるよう、生涯にわたり自らを高めることができる環境づくりに努めます。

## 施策の方針

市民人権学習、人権の集いの実施、啓発情報紙「ひとみ」の発行など、市民一人一人が人権意識を高め、人権問題に対する正しい理解と認識を深める取組の充実を図ります。

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.85	0.85	0.8	0.6	0.6	0.0
会計年度任用職員数	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	0.0
人件費計	7,035,968	7,820,604	6,538,661	6,112,328	6,482,352	0
事業費計	4,904,251	4,927,299	5,230,920	5,653,280	6,004,000	0
フルコスト	11,940,219	12,747,903	11,769,581	11,765,608	12,486,352	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金		0				0
県支出金	162,000	542,000	542,000	470,000	467,000	0
市債						0
その他						0
一般財源1	11,778,219	12,205,903	11,227,581	11,295,608	12,019,352	0
一般財源2	4,742,251	4,385,299	4,688,920	5,183,280	5,537,000	0

## 3. 成果指標

### (1) 成果指標

指標名	市民人権学習への参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	1,800	1,800	1,800	2,000	2,100	2,100
単年度実績値	1,867	1,672	2,066	2,865		
単年度達成率	103.72%	92.88%	114.77%	143.25%	-	-

### (2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	市民人権学習への参加者数
前年度との比較	↑：向上
所見	新しい団体に働きかけたことにより、参加団体・参加人数が増加した。各団体の開催方法やニーズを大切に、誰もが参加しやすい市民人権学習会にしていく。





# 施策評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち		
施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実		
取り組み事項	生涯学習環境をつくる		
主管部局	教育委員会 生涯学習課	関連部局	

## めざす暮らしの姿

市民一人一人が自主的・自発的に学習活動を行い、心豊かで充実した生活が送れることを目指す。

## 基本方針

市民が生涯にわたって学習活動が行えるよう、ライフステージに応じた学習プログラムを提供する。また、生涯学習施設の適切な修繕を行い長寿命化を図ることで、市民が安心して学ぶことのできる環境の維持に努める。

## 施策の方針

生涯学習の場の整備と学習内容の充実を図り、ライフステージに応じた学習プログラムの充実に努める。また、学習の成果が発揮できるよう、生涯にわたり自らを高めることが出来る環境づくりに努める。

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.75	0.49	1.05	1.04	1.04	0.94
会計年度任用職員数	8.42	9.18	10.58	10.67	11.03	11.03
人件費計	16,947,111	17,194,170	22,662,709	27,663,733	31,219,444	30,497,306
事業費計	76,527,561	7,089,376	80,713,744	78,839,636	136,689,000	80,879,000
フルコスト	93,474,672	24,283,546	103,376,453	106,503,369	167,908,444	111,376,306

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定国庫支出金						0
特定県支出金						0
財源市債				2,900,000	49,900,000	49,900,000
源その他	877,000	1,303,000	1,303,000	1,303,000	1,100,000	1,100,000
一般財源1	92,597,672	22,980,546	102,073,453	102,300,369	116,908,444	60,376,306
一般財源2	75,650,561	5,786,376	79,410,744	74,636,636	85,689,000	29,879,000

## 3. 成果指標

### (1) 成果指標

指標名	公民館等施設利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000
単年度実績値	41,081	45,752	49,195	48,288		
単年度達成率	70.82%	78.88%	84.81%	83.25%	-	-

### (2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	公民館等施設利用者数
前年度との比較	↓：低下
所見	市民の文化的な活動を支えるために、公民館活動を周知し、公民館講座の参加を促し、積極的に支援していく。





# 施策評価シート

年度

6

## 1. 基本情報

まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち		
施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実		
取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		
主管部局	教育委員会 体育振興課	関連部局	

## めざす暮らしの姿

社会教育環境の充実

## 基本方針

スポーツ施設を活用し、誰もがライフステージに合わせてスポーツを生活に取り入れ、健康で文化的な生活が送れるようスポーツ活動の推進を図ります。

## 施策の方針

スポーツ施設について、施設の計画的な整備改修と管理運営に努めます。  
誰もがライフステージに合わせてスポーツを楽しめるよう、スポーツ教室や大会などイベントを実施します。また、体育協会や地域スポーツクラブなどの活動を支援します。  
市民自らが主人公としてスポーツ活動を推進していくため、地域スポーツの担い手・リーダー発掘と育成に努めます。

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	3.74	3.74	3.74	3.74	4.64	4.01
会計年度任用職員数	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.75
人件費計	26,466,040	29,738,335	25,418,352	27,665,210	35,162,359	30,569,897
事業費計	64,617,497	70,836,683	154,576,999	193,040,367	59,276,000	56,661,000
フルコスト	91,083,537	100,575,018	179,995,351	220,705,577	94,438,359	87,230,897

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金		2,000,000				0
県支出金						0
市債		7,300,000	140,500,000	55,900,000	0	0
その他	4,731,610	5,052,000	5,634,000	5,524,000	7,167,000	5,524,000
一般財源1	86,351,927	86,223,018	33,861,351	159,281,577	87,271,359	81,706,897
一般財源2	59,885,887	56,484,683	8,442,999	131,616,367	52,109,000	51,137,000

## 3. 成果指標

### (1) 成果指標

指標名	スポーツ施設利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	221,400	221,400	221,400	221,400	221,400	221,400
単年度実績値	184,927	216,106	224,227	226,463		
単年度達成率	83.52%	97.6%	101.27%	102.28%	-	-

### (2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	スポーツ施設利用者数
前年度との比較	↑：向上
所見	多彩な事業を行い、施設利用者が増加した。

# 構成事務事業の事後総合評価

事務事業名	事務事業担当者の評価	上位責任者の評価	総合評価
	担当者所見	方向性及び所見	
市民体育館管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	施設を適切に管理し、市民が安全かつ快適に利用できるよう努めていく。	施設を適切に管理し、市民が安全かつ快適に利用できるよう努める。	
市民プール管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	異常の早期発見と指定管理者の専門的な見地から市と連携し、計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。	施設管理者と連携を取りながら今後も適正管理に努める。	
市民グラウンド管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	利用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の削減に努める。	利用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の削減に努める。	
温水プール管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	異常の早期発見と指定管理者の専門的な見地から市と連携し、計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。	異常の早期発見と指定管理者の専門的な見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理運営を進める。	
社会体育振興事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	市民一人ひとりが年齢や体力に応じて、生き生きとスポーツを行えるよう継続して実施していく。	市民一人ひとりが年齢や体力に応じて、生き生きとスポーツを行えるように支援することは重要であるため継続して実施する。	
ジュニアスポーツ振興事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	スポーツを通じた青少年育成の観点からもスポーツを楽しむことのできる環境の場を提供していくことが必要である。	生涯にわたるスポーツが楽しめるよう、幼少期からスポーツに触れる機会の提供や、ジュニアを対象としたスポーツ教室や大会などを実施していくことが必要である。	
レクリエーションスポーツ振興事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図る。	
スポーツ教室事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	スポーツを気軽に楽しめる機会と場を通じて、健康及び体力の保持のみならず、自分もできるという経験から自信が生まれ、また、人と人との触れ合いから仲間意識や人との温かみを感じる機会が生まれる。	当事業は費用対効果に優れた事業である。スポーツ人口の裾野の拡大や市民が気軽にスポーツに親しむ契機となるよう、当事業の継続が必要である。	

